

「スマートシティ時代の都市計画と環境建築デザイン」シンポジウム

日時 : 2014年8月4日(月) 13:00~17:00
会場 : 日本大学工学部駿河台校舎1号館 GST ホール (Web で確認下さい)
参加費用 : 会員 2,000 円 会員外 3,000 円 学生 1,000 円
主催 : (一社) 日本建築学会「サステナブル都市・建築デザイン小委員会」

(一社) 日本建築学会では、地球温暖化対策を研究する為には既存研究組織を超えた広範囲で横断的な研究が重要であることから、他学会協会と連携して地球環境委員会を設置し継続研究を行って来た。当小委員会では研究成果をまとめて (仮) 「スマートシティ時代のサステナブル建築デザイン」を今年の秋に刊行予定である。

現在、建築分野では ZEB/ZEH 実現に向けて建築性能向上と地域エネルギー利用の研究・開発が進んでいる。エネルギー分野では情報通信の融合により効率的な需給システムとしてのスマートシティの概念が展開されている。一方、都市計画分野でもインフラ任せであったエネルギー需給計画を、地域分散エネルギー計画として位置づける重要性が指摘されている。また、スマートシティ概念においては、環境建築の様相・自然エネルギー利用・既存都市との整合性・歴史文化風土生活も包含した、地域ポテンシャルを生かした、総合的な環境・都市・建築デザインへの対応へと変容してきている。

今回のシンポジウムは、低炭素社会に向けて「都市計画」と「環境建築」の相互多様な展開が必要であることを示し、課題抽出と行動計画の広範な議論の場としたい。

(サステナブル都市・建築デザイン小委員会主査: 大野二郎/日本設計)

主旨解説	大野二郎(前述)
第1部 講演	(司会: 今村創平/千葉工業大学)
・ 13:10~13:30 「スマートシティ展開の可能性」	田島 泰 (日本設計)
・ 13:30~13:50 「コンピューテーショナルな設計手法からサステイナブル建築・都市デザインを考える」	川島範久 (東京工業大学)
・ 13:50~14:10 「ライフサイクルカーボンデザイン~住宅から郊外住宅地まで」	小泉雅生 (首都大学東京)
・ 14:10~14:30 「エネルギーシステムのレジリエンス」	増田幸宏 (芝浦工業大学)
・ 14:30~14:50 「生命科学から環境工学を考える」	平賀達也 (ランドスケープ・プラス)
(休憩) 10分	
第2部 話題提供・総合的議論	(司会: 大野二郎/前述)
・ 15:00~15:10 (第1部まとめ)	
・ 15:10~15:20 「エネルギー政策の都市計画への対応」	小沢一郎 (都市づくりパブリックデザインセンター)
・ 15:20~15:30 「ローエネルギー建築デザインと街づくり」	小玉祐一郎 (神戸芸工大)
・ 15:30~15:40 「環境建築デザインの行方」	安田幸一 (東京工業大学)
・ 15:40~16:50 (会場からの質問: 小委員会委員を含めて議論)	
・ 16:50~17:00 まとめ	小玉祐一郎 (前述)

○シンポジウム申込方法: Web 申込み <https://www.aij.or.jp/index/?se=sho&id=837> よりお申し込み下さい。

問合せ: 日本建築学会事務局 榎本 E-mail: enomoto@aij.or.jp TEL: 03-3456-2051 FAX: 03-3456-2058